



ロスナイセントラル換気システム システム部材
 φ100mm接続用防火ダンパー付排気グリル<省令準耐火構造>
 形名

P-13GLFD6

取扱説明書（据付説明書付）

この製品は、ロスナイセントラル換気システムの排気口として、住宅居住室内の天井に据付けて使用してください。それ以外の用途・場所には使用(据付け)しないでください。

- この製品は、省令準耐火構造住宅の排気口として使用できます。
- 防火ダンパーはダクト配管を通して火災が広がるのを防止する構造になっています。
- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。据付け前に、この説明書をよくお読みください。
- 据付けは販売店・工事店様が実施してください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
 なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。
 お客様ご自身では据付けしないでください。（安全や機能の確保ができません）

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。



警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの



注意

誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの



禁止



指示に従い
必ず行う



警告



禁止

- 防火ダンパーを密閉または、半密閉の燃焼設備（給湯機・風呂釜など）の排気ダクトには使用しない（誤動作によりダンパーが閉じて排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因）



注意



禁止



指示に従う

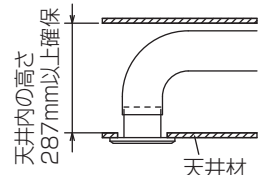
- お手入れの際は足元が不安定な状態でグリルの着脱を行わない（足元が不安定な状態での作業はけがの原因）
- 据付けは確実に（落下によるけがの原因）
- 据付けやお手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがの原因）
- 据付けやお手入れの際は、必ず接続されている換気扇を停止してから行う（運転状態での作業はけがの原因）

据付け前の準備

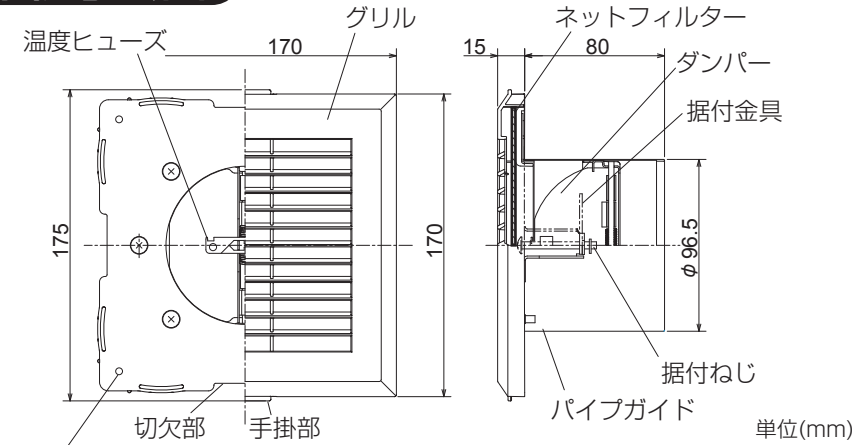
据付け前に下記のものをご用意ください。
 ●市販のアルミテープ

据付け前のお願い

- 天井材は必ず厚さ12～25mmの石膏ボードを使用してください。
- 高温（40℃以上）になる場所・浴室など湿度が高い場所では使用できません。
- 直接炎・油煙があたるおそれがある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用できません。
- メンテナンスのできる場所に据付けてください。
- 据付けるダクトに変形（ツブレ等）、しぼり（局所的に径の縮小）、極端な曲げがないことを確認して据付けてください。
- 据付面に反り・凸凹がないか確認して据付けてください。
- 天井内の高さは287mm以上確保してください。



外形寸法図



補助据付用穴 (4か所)
 ※天井材とパイプガイドにすき間が発生する場合は
 市販の木ねじ (呼び径φ3.5 長さ30以上) と
 石膏ボード用アンカー (市販品) で固定してください。

●適用ダクト

- フレキシブルダクト φ100mm (樹脂製・アルミ製)
- 小口径ダクト (φ100mm) P-13DSV2

●据付可能場所

- 天井

据付方法

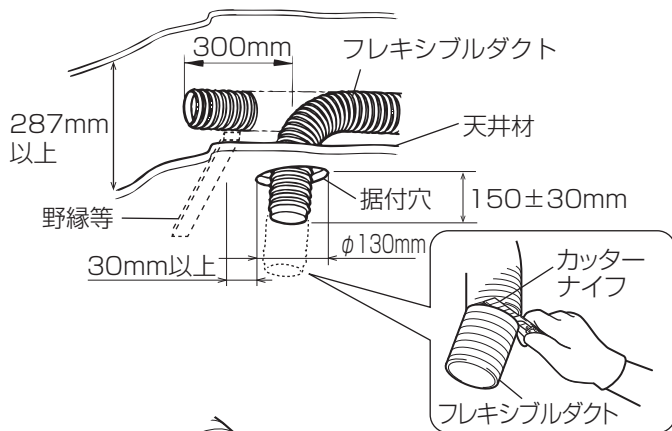
⚠注意



指示に従う

- 据付けは確実に進行 (落下によるけがの原因)
- 据付けの際は、手袋を着用する (着用しないとけがの原因)
- 据付けの際は、必ず接続されている換気扇を停止してから行う (運転状態での作業はけがの原因)

1. 据付け前の準備



フレキシブルダクトの配管

1. フレキシブルダクトを据付位置まで配管し、据付位置より300mm程長くして切断する。
2. 天井材の排気グリル据付位置にφ130mmの据付穴を開け、フレキシブルダクトを引き出す。
3. フレキシブルダクトは150±30mm残して切断する。

お願い

- 据付穴はφ133mm以下としてください。φ133mmを超えると、パイプガイドと据付穴の間にすき間ができ、省令準耐火構造に適合しません。
- 据付穴周囲30mm以内は天井材の上に障害物 (野縁等) を設けないでください。
- 天井内の高さは287mm以上確保してください。

フレキシブルダクトの接続

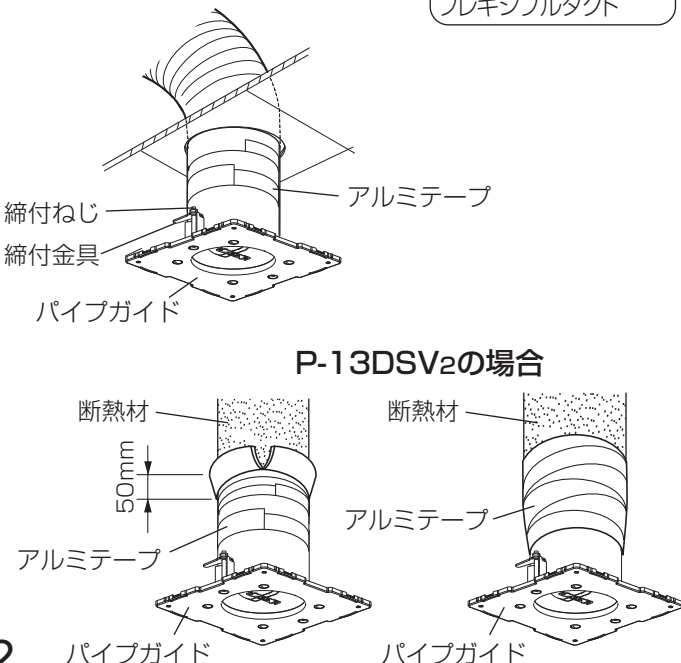
フレキシブルダクトとパイプガイドを接続し、市販のアルミテープで空気漏れのないように確実に巻き付ける。

P-13DSV2の場合

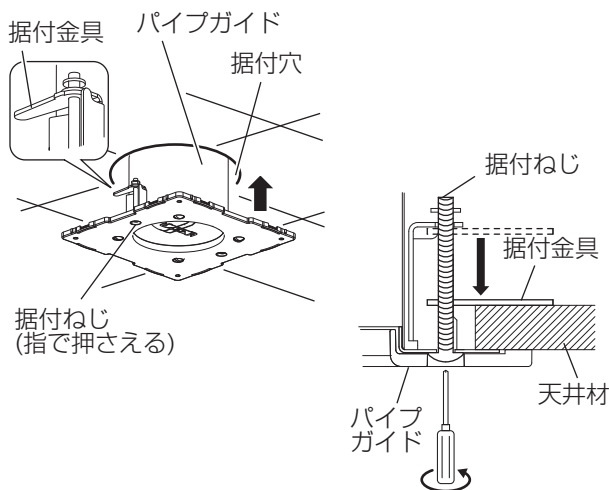
1. ダクトの断熱部分をダクトを傷付けないように50mm程度切り開き (2か所)、断熱材をめくりあげる。
2. ダクトとパイプガイドを接続し、市販のアルミテープを確実に巻き付ける。
3. 1で切り開いた断熱材を閉じ、閉じた断熱材の上から市販のアルミテープで風漏れがないように確実に巻き付ける。

お願い

- 据付ねじ、据付金具にアルミテープを巻き付けしないでください。



2. パイプガイドの据付け



1. 据付金具を図の位置にしたままパイプガイドの据付ねじを指で押さえながら、パイプガイドを据付穴に差し込む。

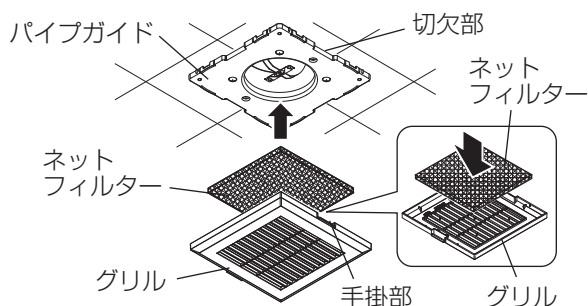
お願い

- 据付ねじが下にさがるとう据付金具の位置がずれて据付穴に差し込みなくなります。必ず据付ねじを指で押さえてください。
- 2. パイプガイドを天井材に押し付けた状態で傾きがないように据付ねじ（2本）を締め付ける。
 - 図のように据付金具が下に移動し、パイプガイドが天井材に固定されます。

お願い

- 据付ねじの締め付トルクは0.9～1.4N・mとしてください。インパクトドライバーは使用しないでください。締め付けすぎると据付ねじや据付金具が破損することがあります。
- パイプガイドが傾いている場合は、傾かないように据付け直してください。

3. グリルの取付け



1. ネットフィルターを図のようにグリルの内側に入れる。
2. グリルの手掛部とパイプガイドの切欠部を合わせて取付ける。

お願い

- グリルをパイプガイドへ確実に取付けてください。取付けが不十分な場合、グリルが落下するおそれがあります。

据付け後の確認

据付け後、下記の確認をお願いします。

- ・ ねじにゆるみがないか？
- ・ 天井材とグリルの間に著しいすき間がないか？
- ・ グリルが正しく取付けられているか？

お手入れ

正しくご使用いただくために、必ず定期的に点検（1年以内ごと）・清掃（2か月ごと）を行ってください。

⚠ 注意



指示に従う

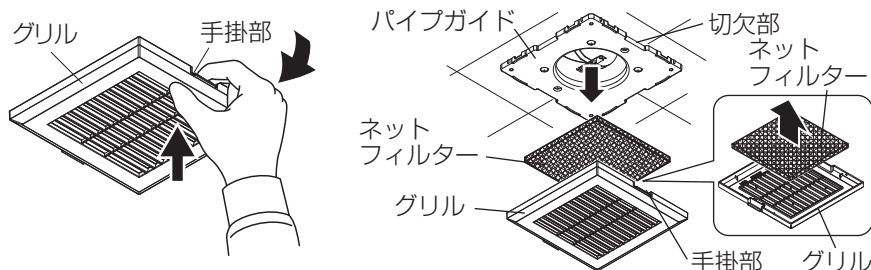
- お手入れの際は足元が不安定な状態でグリルの着脱を行わない（足元が不安定な状態での作業はけがの原因）
- お手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがの原因）
- お手入れの際は、必ず接続されている換気扇の運転を停止してから行う（運転状態での作業はけがの原因）

点検項目

- 温度ヒューズに著しい腐食（銅板が青緑色へ変色）や変形の発生がないか？
 - 温度ヒューズが作動し、ダンパーが閉じていないか？
 - ねじ類にゆるみなどないか？
 - 製品の据付状態は正常であるか？
 - 樹脂部品に割れなどないか？
- ※点検の結果、異常が見つかった場合は、修理・部品（製品）の交換をお買い上げの販売店・工事に依頼してください。

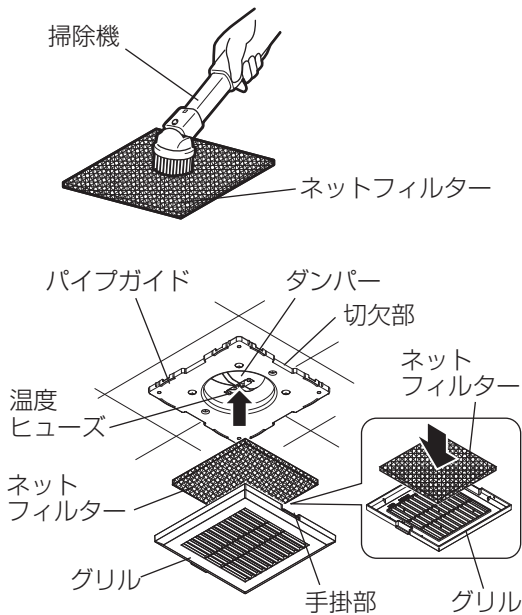
清掃

グリルやネットフィルターにほこりなどが付着すると換気扇の風量低下や異常音発生の原因になります。2か月に1度を目安として清掃してください。



1. グリルをはずす。
 - 手掛部に指先をあて、グリルを下側に引っ張るとはずれます。
2. グリルからネットフィルターを取りはずす。

お手入れ つづき



3. ネットフィルターの清掃をする。

- 軽く手でたたくかまたは掃除機でほこりを吸い取る。汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯(40℃以下)に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。
- このネットフィルターは定期的な清掃により繰り返しご使用いただけますが、著しいネットフィルターの目詰まりやネットフィルター繊維の破損、ほつれがひどい場合などは下記の交換用ネットフィルターを購入し、交換してください。

交換用ネットフィルター P-13GNET

交換用ネットフィルターをお求めの場合は、お買上げの販売店(または三菱電機ご相談窓口)までお問合せください。

お願い

- もみ洗いは絶対におやめください。
- 熱湯で洗ったり、直接火にあてて乾かしたり、ドライヤーなどで温風をあてて乾かすことは絶対にしないでください。

4. グリルを清掃する

- ぬるま湯(40℃以下)に浸した布をかたくしぼってふく。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤に浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。

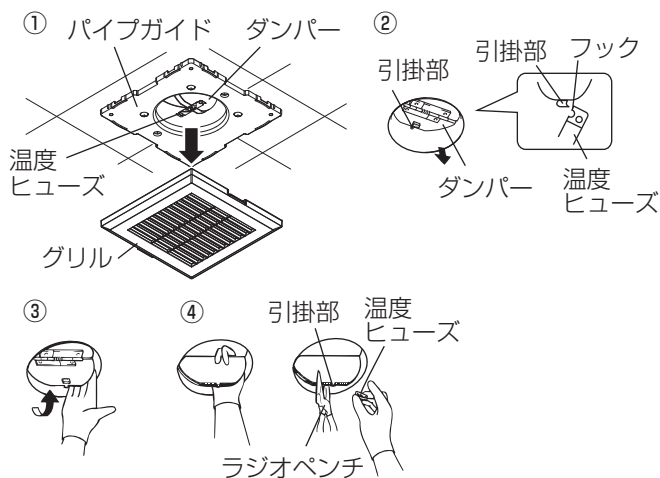
5. ネットフィルターをグリル内側へ入れる。

6. グリルの手掛部とパイプガイドの切欠部を合わせて元通りにはめ込む。

お願い

- ネットフィルターをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・酸性洗剤・アルカリ性洗剤・化学ぞうきんの薬剤
クレンザー等けんま材入りの洗剤・殺菌剤・消毒剤など(変質・変色する原因になります)

温度ヒューズの取付け



温度ヒューズが作動し、ダンパーが閉じている場合は手順①、温度ヒューズを交換する場合は手順④から始めてください。

温度ヒューズの取付け・交換はお買上げの販売店・工事に依頼してください。

- ① グリルをはずす。
※はずしかたはお手入れの項を参照してください。
- ② 温度ヒューズのフックで片方のダンパーの引掛部を引掛け、片方のダンパーを起こす。
- ③ パイプガイドから手を入れて、もう片方のダンパーを裏側から押すように起こす。
- ④ 両方のダンパーを指ではさみ、引掛部に温度ヒューズを取付ける。(はさみにくいときは、ラジオペンチなどを使用してください)
- ⑤ グリルを元通り取付ける。

アフターサービス

当社は、この排気グリルの補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談はお買上げの販売店か下記窓口にご相談ください。

■ご相談窓口 平日 9:00~12:00 13:00~19:00 (土・日・祝・弊社休日以外)

三菱電機 換気送風機技術相談センター 電話: 0120-726-471 (無料)

上記以外の時間帯

三菱電機 お客様相談センター 電話: 0120-139-365 (無料)

※電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号